

テーマ：教会に対するキリスト者の相応しい心遣いとはどのようなものなのか？

### ○教会に対するパウロの心遣い：四つの特徴

#### 1. “苦闘”を伴う心遣い(1)

#### 2. “目的”を伴う心遣い(2-3)

#### ●パウロの苦闘：三つの目的

##### 1) 心に励ましを受けるため(2a)

##### 2) 愛によって結び合わされるため(2b)

##### 3) \_\_\_\_\_(2c-3)

※1 コリント 2:14

「生まれながらの人間は、神の御霊に属することを受け入れません。それらは彼には愚かなことだからです。また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊のことは御霊によってわきまえるものだからです。」

※ローマ 8:2-3

「なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。肉によって無力になったため、律法にはできなくなっていることを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。」

※ローマ 8:5-6

「肉に従う者は肉的なことをもっぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。」

※ローマ 6:23

「罪から来る報酬は死です。」

※ローマ 5:8-9

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。」

#### 3. \_\_\_\_\_を伴う心遣い(4)

※エペソ 4:14

「それは、私たちがもはや、子どもではなくて、人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり、波にもてあそばれたりすることがなく、」

▶「人の悪巧み」

▶「人を欺く」

※2 コリント 11:3

「しかし、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、万一にもあなたがたの思いが汚されて、キリストに対する真実と貞潔を失うことがあってはと、私は心配しています。」

▶「悪賢い策略」

※使徒 20:29-30

「私が出発したあと、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、群れを荒らし回ることを、私は知っています。あなたがた自身の中からも、いろいろな曲がったことを語って、弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こるでしょう。ですから、目をさましていなさい。私が三年の間、夜も昼も、涙とともにあなたがたひとりひとりを訓戒し続けて来たことを、思い出してください。」

※ローマ 16:17-18

「兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。」

4. \_\_\_\_\_を伴う心遣い(5)

※3 ヨハネ 3-4

「兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいるその真実を証言してくれるので、私は非常に喜んでいますが。私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。」